

平成27年度第3回川崎区区民会議（全体会議） 摘録

日 時：平成28年3月15日（火）午後6時30分

場 所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 17名

新井トキ子、石渡勝朗、新井一成、荒巻裕子、岩瀬絹代、知念ジョアンナ、
塚原晴美、戸村正房、中村紀美子、埜瀬晴美、朴昌浩、畑敏雄、原千代子、
深瀬欣之助、藤村稔、森脇卓郎、山田義孝

参与 0人

傍聴 0人

（進行：山口副区長）

1 開会

- 委員の出欠と会議の成立の確認
- 会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明、傍聴者の確認
- 配布資料の確認

2 区長挨拶

（大谷区長）

本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。また、先月は、区民会議交流会に多くの委員の皆様にご参加いただきましてありがとうございます。川崎区の区民会議委員の方が連続してグループ発表をしていただくなど、活躍していただき嬉しく思いました。

さて、平成26年4月にスタートした第5期川崎区区民会議も本日で最後の全体会議になります。これまでの審議において、会議室での会議だけでなく、実際に現場に出向いていただき、熱心なご議論を重ねていただいたことを御礼申しあげます。

本日の議題は、最終報告書の最終確認になります。本日も積極的な議論を期待しまして、私の挨拶といたします。

（進行：新井トキ子委員長）

3 議題

（1）第5期川崎区区民会議報告書（案）について

第5期川崎区区民会議報告書(案)の全体構成について、資料1:「第5期川崎区区民会議報告書(案)」により、石渡副委員長が説明した。

また、第5期川崎区区民会議報告書(案)の各部会の提案内容について、地域を育むまちづくり部会の戸村部会長、だれもがいきいき暮らす部会の原部会長がそれぞれ説明した。

第5期川崎区区民会議報告書(案)について、主な意見・コメントは以下のとおり。

<地域を育むまちづくり部会について>

【みんなで作ろう防災マップ!～地域住民による手作り防災マップの普及・啓発～】

朴委員 大島地区のまち歩きに参加しました。使用した地図が古く、現状と異なっていた部分があり、また、マップについても、子どもにとっても見やすいものがあると良いと思いました。例えば、子どもも一緒に作れるように塗り絵式にしても面白いと思います。

戸村部会長 作ったマップは、徐々に古くなるので、現状に合わせて定期的に更新していくことも大切だと考えています。また、マップ作りの際に使用する地図については、なるべく最新のものを用意していけると良いと思います。

また、第5期川崎区区民会議報告書(案)に9ページに掲載する図は、カラー印刷をお願いしたいと思います。

岩瀬委員 私も大島地区のまち歩きに参加しました。各地域にこの活動が広がって欲しいと思います。また、各地域の方々のつながりを活かして、一人ひとりの防災意識を高めることが重要だと思います。マップを作る際に、危険シールなどがあると便利だと思いました。

中村委員 この提案を機に、各町内会などで取組が進んで欲しいと思います。

今後、継続的に呼び掛けや啓発を行う必要があると感じています。

【川崎区公園づくり5カ条】

岩瀬委員 今回、報告書の中に、トピックとして海風の森についての紹介を入れてもらったことは意味があることだと感じています。海風の森は、亡くなった原田委員が活動されていた公園ですが、とても良い公園なので、もっと活用が進むと良いと思います。

新井(ト)委員長 海風の森の活用には、アクセスが悪いという課題がありますが、もっと多くの区民に知ってもらいたいと思います。

岩瀬委員 富士見公園は、昔よりとても改善されています。川崎区の中心的な

公園として、憩いの場でもあり、防災にも活用できる公園になると良いと思います。富士見公園が改善されたのは、大谷区長のお力もあったと聞いています。

大谷区長 海風の森は、川崎区唯一の市民健康の森として、原田委員と切磋琢磨して作った公園であります。また、富士見公園は、昔はホームレスの方が多い時には200名以上いて、ブルーシートが張られた場所でした。様々な交渉を行いながら、シェルターを作るので移動して欲しいということで改善に向けて取り組みました。その後、公園のさらなる改善にむけて、住民の方とのワークショップを開催し、はぐくみの里として再生を図った経緯があります。現在、シェルターはなくなりましたが、地域の方が春と秋に収穫祭を行ったりしています。行政としても、今後も継続して改善に取り組んでいきたいと考えています。

中村委員 私、海風の森づくりの活動に参加したことがあります。スイセンを植えたり、ビオトープを作ったりしました。川崎市の各区に森を作るというコンセプトの活動でしたが、川崎区だけ既存の公園で作ることができず、一から森を作ることになりました。そういった経緯があるので、区民が大事にしていく公園にしていきたいと思えます。

荒巻委員 私は、小さい子どもがいるので、公園づくり5カ条が実現されれば、子どもにとっても、親にとっても、とても良い環境になると思えます。

<くだれもがいいき暮らし暮らす部会について>

【広げよう！見守りの輪】

新井（一）委員 ヒアリングの4団体は、どういった理由で選ばれたのでしょうか。また、ヒアリングの相手は、その団体のどういった方にお話を伺ったのでしょうか。

畑委員 アンケートで90団体からの回答がありました。その中で、特徴的な取組をしている団体や、マンションなど構成が特殊な団体を選定しました。ヒアリングでは、それぞれの団体の代表の方にお話を伺いました。

アンケート調査やヒアリング調査は、今回初めての試みでしたが、今後の地域包括ケアシステムを見据えて、今後も展開していけると良いと思います。

石渡副委員長 地域包括ケアシステムは、社会福祉協議会が中心となってやっていると感じていますが、区役所と社会福祉協議会の関係で、今後どのように統一してやっていくのか、見守り支援センターを窓口にどのような形で地域に浸透していくのか、課題であると感じています。連絡協議会での横のつなが

りを強化していくことはもちろんですが、事務局についてもある程度公的な支えが必要であると考えています。

山田委員 見守りに関しては、まだまだ課題が多く残っていると思います。地域の皆様は、悩まれていると思いますが、地域での実践を進めて欲しいと感じます。

畑委員 見守りの調査審議を経て、町内会組織の重要性を認識しました。民生委員や社会福祉協議会、老人クラブにしても、町内会との連携組織であるため、町内会がしっかりしていれば、支えになると思います。ヒアリングを行った、鋼管通2丁目町内会は、町内会がしっかりしており、見守り活動を基本に、町内会を組織していて、このような町内会があるのだと驚きました。

【子ども育成支援団体の交流の促進】

新井（一）委員 子ども育成支援団体の交流会は、是非、来期も続けて欲しいと思います。

中村委員 第2回の情報交換会の主な意見に、「各団体がバラバラに活動している状況があるが、一緒に活動すればもっとよくなる」という意見があります。この意見が最重要項目だと思うので、様々な連携ができれば良いと思います。

<第5期川崎区区民会議報告書（案）の承認について>

新井（ト）委員長 第5期川崎区区民会議報告書（案）について、ご承認いただけますでしょうか。

委員一同 承認。

（2）第5期川崎区区民会議の振り返りについて

藤村委員 地域を育むまちづくり部会のまち歩きや、だれもがいきいき暮らす部会の防災フォーラムなど、机上の会議ではなく、現地へ赴くことでより住民目線になり、提案がより具体的になったと感じています。また、それぞれの提案も継続していくことが大切で、悪いところは改善しながら、徐々に参加者を増やしていくことが良いと思います。

中村委員 皆様、2年間ご苦労様でした。これだけの提案などに関わられて嬉しく思っています。両部会とも、お互いの取組や活動に参加しながら進めることができ、とても良かったと思います。

知念委員 2年間、区民会議の活動に関わり、様々な委員からのご意見や地域の状況や課題が出され、自分自身とても勉強になりました。課題解決のために、提案に向けて様々なことを考えることができ、良かったです。行政ができること、私たち区民ができること、それぞれ情報交換しながら役割分担していくことが大切だと感じました。また、外国人向けの防災フォーラムなど、外国人市民向けの取組について、委員の皆様が一生懸命考えてくれることがとても嬉しかったです。外国人区民として参加させていただき、分からないことも多かったのですが、皆様の助けもいただき、ありがとうございました。

森脇委員 第5期の部会は、それぞれ様々な動きをする中で、実際にまちに出ていくことで、一つの方向性ができたと思います。お願いとして、報告書の提案内容の部分で、それぞれ「～提案します。」と締めくくられています。我々区民会議の提案を受けて、行政はどのような事業に落とし込めるのか、検討していかななくてはいけないと思います。検討の中で、できれば来年度の中頃までに、提案に対する答えのようなものをいただくと、より具体的なものにつながっていくのではないかと感じています。

深瀬委員 この提案を、どのように具体化して取り組んでいけるか、どの取組もフォローアップしていくことが重要だと思います。また、町内会組織が、昔とかなり変わってきているため、町内会のあり方のようなものも、今後考えていかななくてはいけないと感じています。

原部会長 先日の区民会議交流会で、川崎区の区民会議が成長したと感じました。区民の参加と協働での課題解決に向けた提案・取組について、継続・持続していくことをお願いしたいと思います。区民会議の役割は、様々な行政課題を、行政と区民が一緒になって、地域の視点から解決を図ることです。任期2年という、区民会議の性質上、難しいかもしれませんが、縦割行政ではなく、部局間の連携をもって、取り組んで欲しいと思います。

埜瀬委員 あっという間の2年間でした。様々な活動や取組に参加することで、とても勉強になりました。報告書ができあがりしましたが、これで終わりではなく、取組を継続していくことが大切だと感じます。

塚原委員 2年間ありがとうございました。外部の活動に関して、あまり参加できませんでしたが、とても有意義に過ごせました。

荒巻委員 部会にあまり参加できませんでしたが、区民会議を通して、様々な方が区民のために活動しているということを実感しました。

(3) その他

川崎区役所で行っている、公園の活性化に関する取組について、原田島支所長から説明を行った。

4 閉会

(大谷区長)

2年間の調査・審議、ありがとうございました。第5期区民会議では、寺尾委員長、原田委員が亡くなり、藤村委員に新たに参加いただき、新井トキ子委員長・石渡副委員長という体制になり、委員の皆様は大変だったと思いますが、ご協力いただき、無事に2年間を終えることができました。

川崎区は、この2年間、中学一年生の事件や、大きな火災など、ショッキングな出来事が起こりました。また、川崎区は、貧困問題もあり、明るい部分と暗い部分を併せ持つまちだと感じています。委員の皆様は、それぞれのポジションで様々なことを考えていただいたと思いますが、区民会議を通して、皆様の考えが同じ方向を向いていると実感することができました。区としても提案をしっかりと受け取り、第6期につなげていきたいと思っております。

本日はありがとうございました。

■閉会宣言

午後8時00分閉会

(以上)